

「環境配慮設計と材質表示等に関する意見交換会」の目的および会議の位置づけ等、詳細

1. 目的

- ① 現行のプラスチック製容器包装について、その材質や構造が自治体・再商品化事業者のリサイクル現場においてどういった影響を与えているのか等の情報提供
自治体・再商品化事業者 → 特定事業者への情報提供
- ② 容器包装設計／材料選択における特定事業者の環境配慮を中心とした考え方の相互理解促進
特定事業者(容器製造・利用事業者) ⇔ 自治体・再商品化事業者・市民・流通事業者 等
- ③ 現在の識別表示について、自治体、市民、(再商品化事業者)からの改善希望
自治体・市民・再商品化事業者 → 国、特定事業者への情報提供

2. 会議の位置づけ他

- ① 関係する各主体が「1. 目的」記載の内容を共有化する場としての非公開ワーキンググループとする。
- ② 共有された情報は各主体が持ち帰り、今後の活動につなげる(ワーキンググループ全体としてのとりまとめは行わない。意見交換の要旨は容リ協ホームページ等にて公開予定)。

3. 会議開催概要

・第1回 WG

テーマ:「商品化事業者における複合素材／塩素系プラスチック他の混入による影響」
(平成 22 年 12 月 2 日 開催済み)

再商品化事業者、再商品化製品利用事業者からのプレゼン 他

・第2回 WG

テーマ:「自治体の分別の現状と事業者(容器製造事業者)の環境配慮設計思想」
(H23 年 3 月 予定)

市町村(自治体)、容器製造事業者等からのプレゼン 他

・第3回 WG

テーマ:「容器利用事業者(特事)における容器選定と消費者として求めたい情報」
(H23 年 5 月 予定)

容器利用事業者、消費者(団体代表)からのプレゼン 他

○参加メンバー

・ファシリテーター: 学識経験者

・WG メンバー: 上記、プレゼンをお願いする各主体代表、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、および学識経験者(アドバイザー)、各主体 1～2 名。

・オブザーバー: 環境省、経済産業省、農林水産省 他

(事務局: 日本容器リサイクル協会・企画広報部・プラスチック容器事業部)

以上